



箭田っ子だより

学校だより 第5号
令和6年6月7日
倉敷市立箭田小学校

学校教育目標：自ら学び、人・物・自然を大切にする心豊かな子どもの育成

学校経営目標：地域に愛され、一人ひとりの児童が生き生きと輝く、明るく活気に満ちた学校づくりを推進する

PTA 人権教育講演会

あやもりとうま
彩森灯真さんを講師にお招きして PTA 人権教育講演会を行いました。彩森さんは、性同一性障がい
の当事者として講演を行いながら人権の正しい理解を広めるとともに、性同一性障がいへの偏見
や差別をなくすためにご尽力されています。

講演では、ご自身の生い立ちとともに、話を進められていきました。

小学校の時、「あなたは女の子なのだから」と言われ、学ランを着ることができず、ランドセルも
赤色で、すごく嫌だった。

中学生になり、性同一性障がいの芸能人をテレビで見て、「自分と同じかも」と思った。今まで悩
んでいた答えが見つかったように思えた。

高校は女子高に進学。性同一性障がいであることをカミングアウトした友達が、学校中の噂になり
いじめの対象に。絶対言えないと思った。

その後、30歳の時に性別適合手術を受けられた。手術をするときに、両親に打ち明けた。講演の
中では詳しく話されませんでした。大変な日々がしばらく続いたようです。

彩森さんが参加者の方に、「もし子どもさんが性同一障害であることを打ち明けてきたらどうしま
すか？」と、尋ねられました。参加者からは「認めてあげる」という意見が多く発表されました。今
までそのようなことをイメージしたことがなかったのですが、我が子の顔を思い浮かべながら、考
えてしまいました。

さて、今回の講演で一番心に残っているのは、次の言葉です。

男だから、女だからというのではなく、わたしだから、あなただから。あなたが、あなたのままで
いいよ！と、一番の味方になってあげてください。

つつい、こうなってほしい、こうあるべきと
思いがちですが、その前に、すべて丸ごと受けと
めて認めてあげることに思いました。自分
のこと、家族のこと、そして、自分の周りの人…
いろんな違いを認めていくことで、すべての人が
大切にされる社会になるのではないですか。

